SHINAGAWA
イノベーションフォーラム2023

進化するWeb3.0
メタバースの世界

メタバースが拓く新たなビジネスの可能性と最新のビジネス活用事例

参加費 **無料**

2023
1/30(月)・31(火)
13:00~18:00

会場:大崎ブライトコアホール
(オフライン開催)

※地図は裏面参照

定員:200名

主催:品川区
共催:東京商工会議所品川支部、一般社団法人五反田バレー
後援:関東経済産業局(予定)　協力:公益社団法人企業情報化協会(JiIT)
運営:株式会社キャンパスクリエイト(電気通信大学TLO)

品川区では、情報通信業の皆様の交流・促進による新たなビジネスの創出やビジネスチャンスの獲得などを目的とした取り組みを進めており、本取り組みの一環として、品川産業支援交流施設(SHIP)においてフォーラムを開催いたします。

本フォーラムでは、近年、エンターテイメント業界との親和性だけでなく情報通信業・製造業など幅広い産業分野への活用が進んでいる『メタバース』をテーマに、基調講演や参加企業による新技術や製品・サービスの活用事例のご紹介を通して、デジタル技術を活用したイノベーション創出やネットワーク構築のきっかけとなる場をご提供いたします。

Shinagawa City 品川区　東京商工会議所　五反田バレー

SHINAGAWAイノベーションフォーラム2023

進化するWeb3.0／メタバースの世界

1/30(月) SCHEDULE

1/31(火)のタイムスケジュールは裏面をご覧ください

主催者挨拶 13:00～13:05

【経済産業省講演】13:05～13:35

経済産業省商務情報政策局コンテンツ産業課 係長 松島 亮介 氏

メタバースにおけるクリエイターエコノミーの創出事業と今後の展開

Z世代など若者世代を中心にメタバースが新たな個人のインターフェースとなりつつあり、人々の生活におけるデジタル空間の比重が高まっています。各省庁においてもメタバース関係事業に取り組むなか、経済産業省で実施する「Web3.0時代におけるクリエイターエコノミーの創出に係る調査事業」を中心に、メタバースに関する動向や今後の展望についてお話しします。

【基調講演】13:40～14:30

東京大学大学院情報学環教授 高木 聡一郎 氏

デジタル世界における価値流通の新たな展開 ～Web3とメタバースの接点から考える～

ブロックチェーン技術に基づき各種のサービスを分散型で実現しようとする、いわゆるWeb3は、仮想通貨のみならず各種の金融サービスからアートの取引、電力取引まで幅広い分野に影響を与えています。一方で、VR技術に基づく仮想空間であるメタバースは、人の交流や商取引のプラットフォームを提供するとともに、デジタル世界における価値や希少性、仲介における新たな論点を提示しています。本講演では、Web3の発展を概観しつつ、メタバースとの接点を取り上げ、両分野における今後のビジネスにおける可能性や課題を検討します。

休憩　14:30～14:40

【大手企業の取組事例紹介1】14:40～15:00

株式会社NTTコノキュー 取締役 岩村 幹生 氏

XR・メタバースが切り拓くフロンティア

NTTグループのXR事業では、現実と仮想世界をXRで編集し、自由な表現の共有と共感を促すメディアを提供することをミッションとし、リアルの限界を超え夢や思いを共感しあえる世界の実現を目指しています。XRがもたらす新しい世界との出会い、スマートフォンのその先のコミュニケーションについて考えます。

【大手企業の取組事例紹介2】15:05～15:25

ANA NEO株式会社マーケティング責任者 木下 沢威 氏

ANAのメタバース事業活用によるデジタルツイン社会の実現に向けて

ANA NEOは、メタバース空間を活用しながら未来のライフスタイルを企画・開発しています。まずは、旅から始まるメタバースとして「ANA GranWhale」を2023年にリリース予定で、メタバースにおける新しい旅やショッピングのカタチを提案します。将来的には、リアルとデジタルを融合させ、メタバースを活用したより豊かで便利な暮らしの実現を目指します。

【大手企業の取組事例紹介3】15:30～15:50

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 新事業創出・DX推進グループ 五十嵐 知宏 氏
株式会社丹青社 デザインセンター デジタルデザイン局 山下 純 氏

「リアル×デジタル」デジタルツインで実現する Innovation Space DEJIMA

五反田にある「Innovation Space DEJIMA」はコロナ禍でリアル空間の活用が困難となる中、デジタル空間との共存によるデジタルツインの実現を丹青社とCTCで探索してきました。イノベーションの創出に最重要となる“コミュニケーションの余白“をデザインする共創プロジェクトの内容と共同開発したバーチャル空間「DEJIMA Digital」をご紹介します。

休憩　15:50～16:00

【大手企業の取組事例紹介4】16:00～16:20

株式会社三越伊勢丹 営業本部 オンラインストアグループ
デジタル事業運営部 レヴワールズ　アシスタントマネージャー 丸山 透 氏

三越伊勢丹が挑戦する、メタバースでの新たな顧客体験の提供

三越伊勢丹による、メタバースを活用したコミュニケーションアプリ「REV WORLDS(レヴ ワールズ)」。百貨店・小売業界の経験からなぜメタバースを立ち上げたのか。アプリ立ち上げ経緯から企画・開発について、またローンチから一年以上経ち、運営する中で見えてきたポテンシャルや課題感などを、取組事例を交えながら紹介します。

【大手企業の取組事例紹介5】16:25～16:45

パーソルマーケティング株式会社 メタバースデザイン事業部 部長 川内 浩司 氏

”メタバースではたらく”という新たな価値を提供

多くの企業では「メタバースで何ができるのか、自社として何をしたいのか」を手探りの状態です。当社はメタバースを活用した戦略策定・コンサルティング支援をはじめ、ワールドの選定・構築支援、メタバース店舗の運営支援、アバター人材の育成や人材派遣サービスを提供しています。企業・自治体から寄せられる課題やメタバース上での多様な人材の活用事例などをご紹介します。

【体験会】16:45～18:00

※一部出展ブースは先行して16:00頃から体験いただけます。

フォーラムにてご登壇いただきました企業様による製品体験会を行います。

出展企業

ANA NEO株式会社 Meta Quest 2 を用いた VR体験	**伊藤忠テクノ ソリューションズ株式会社** バーチャル空間 DEJIMA Digital	**株式会社三越伊勢丹** コミュニケーションアプリ REV WORLDS(レヴ ワールズ)	**パーソルマーケティング株式会社** メタバース (GAIA TOWN)上での就業者との コミュニケーション体験

※一部の出展ブースは、混雑状況によって先着順でのご案内となる場合がございます。

SHINAGAWAイノベーションフォーラム2023

進化するWeb3.0／メタバースの世界

1/30(月)のタイムスケジュールは裏面をご覧ください

1/31(火) SCHEDULE

主催者挨拶 13:00～13:05

【基調講演】13:05～13:55

株式会社スプラム 代表取締役 中小企業診断士 竹内 幸次 氏

メタバースは中小企業のビジネスチャンスになるか？

官民をあげてDX=Digital Transformationが進む中、Metaverse／メタバースを中小企業経営に取り入れることが検討されています。メタバースとはどのような概念であり、今後の中小企業の経営課題を解決する救世主となり得るのか。製造業から建設業、小売りサービス業の現場をコンサルしてきた中小企業診断士が中小企業の視点でメタバースのビジネスチャンスを語ります。

SPRAM

休憩　13:55～14:05

【スタートアップ企業の取組事例紹介1】14:05～14:35

クラスター株式会社 ビジネスプランニング事業部 マネージャー 亀谷 拓史 氏

メタバースプラットフォーム「cluster」
～最新のビジネス活用事例とメタバース市場拡大予測～

2022年のトレンドワード「メタバース」。
新たなビジネスチャンスの可能性はまだまだ広がっていくといわれています。現在「バーチャル渋谷」など大型案件はもとより、入社式やバーチャル遊園地など様々な法人イベントを手掛けている「cluster」。実際の事例をもとにメタバース市場の最新のビジネス活用事例をご紹介します。

cluster

【スタートアップ企業の取組事例紹介2】14:40～15:10

株式会社HIKKY 代表取締役CEO 舟越 靖 氏

新たな経済・文化圏を作る！メタバースで描く未来とは

HIKKYが主催する世界最大のVRイベント「バーチャルマーケット」の事例、HIKKYが独自開発するスマホメタバース開発エンジン「Vket Cloud」の事例を基に、メタバースとは何か、今後私達の未来にどう影響していくのかを解説いたします。

HIKKY

休憩　15:10～15:20

【スタートアップ企業の取組事例紹介3】15:20～15:40

株式会社ホロラボ 代表取締役 CEO 中村 薫 氏

製造業や建設業で利用できるAR/MRサービスのご紹介

AR/MRはコンシューマーのみならず製造業や建設業でも徐々に使われ始めており、使い方も現場の業務支援や技能の記録、トレーニングと可能性は多岐にわたっています。本講演ではAR/MRの現場利用の事例や、最新のAR/MRデバイス動向についてお話します。

【スタートアップ企業の取組事例紹介4】15:45～16:05

トビー・テクノロジー株式会社 マーケティング部 ディレクター 藤井 久仁子 氏

アイトラッキングを活用した製造業向けDXソリューション

アイトラッキング（視線計測）は、人がどこを見ているかを可視化できるツールで、既に500社を超える企業が導入しています。製造業では、熟練者と非熟練者の見方の違いや熟練者同士の共通点などを分析し、言語化/データ化が難しいと言われる「熟練者のカン・コツ」を抽出し、教育/評価や技能伝承、自動化に活用いただいています。今回の講演では、DXをテーマとして、「アイトラッキングを用いてどのように作業者のデータ化を進めていくか。」について事例を交えながらご紹介します。当日は、アイトラッキング用のデバイス、「Tobii Pro グラス3」も体験いただけます。

【スタートアップ企業の取組事例紹介5】16:10～16:25

株式会社contronym CEO 藤田 隆太 氏

バーチャルオフィス「METAZA」
～WEB3スタートアップが語るメタバース活用～

コロナ禍でリモートワークの需要が増加している一方で、コミュニケーション面での課題などが多くあります。バーチャルオフィス「METAZA」は、リアルのようなコミュニケーションができるバーチャルオフィスであり、従業員の業務可視化やコミュニケーションの円滑化を可能にします。本講演では、弊社の事例を交えてメタバースの活用方法について語ります。

【体験会】16:25～18:00

※一部出展ブースは先行して15:30頃から体験いただけます。

フォーラムにてご登壇いただきました企業様による製品体験会を行います。

出展企業

クラスター株式会社	株式会社ホロラボ	トビー・テクノロジー株式会社	株式会社contronym
ipad,Meta Quest 2 を用いたVR体験	製造業・建設業向け「mixpace（ミクスペース）」、技術伝承トレーニングツール「TechniCapture（テクニキャプチャ）」等	Tobii Pro グラス3を用いたアイトラッキング体験	バーチャルオフィス「METAZA」の紹介ブース

※一部の出展ブースは、混雑状況によって先着順でのご案内となる場合がございます。

ACCESS

大崎ブライトコアホール（オフライン開催）

品川区北品川5-5-15 大崎ブライトコア 3階

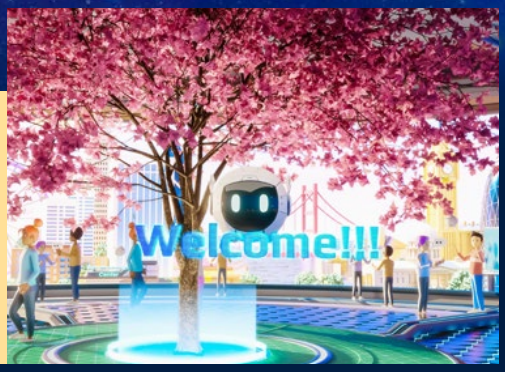
大崎駅からの経路

1. 大崎駅・新東口改札を出て左折
2. T字路・突き当りのエレベーターで1階へ
3. 小関橋を渡り、さらに50m程お進みください
4. 目印は「セブンイレブン」です　大崎ブライトコア3階

EXPERIENCE

体験会

本イベントでは、タイムスケジュール後半に登壇者による
サービス展示、体験会を設けます。
メタバース等に関わる最新技術をぜひご体感ください。



※画像はイメージです。

ENTRY

申し込み方法　下記URLからお申し込みください

https://shinagawa-ism.com/event/shinagawa2023/

SHINAGAWAISM
スタートアップナビ
スタートアップの『創造』と『成長』のためのメディア

スタートアップの『創造』と『成長』のためのメディア「SHINAGAWAISM（シナガワイズム）」は、
ベンチャー・スタートアップ企業のほか、これから起業を目指す方などに対して
情報を提供する新たなオウンドメディアです。
五反田バレーをはじめとした品川区内のスタートアップ企業やキーパーソンへのインタビューほか、
イベントレポートや品川区の支援メニューの紹介など注目のコンテンツを
随時公開していきますのでぜひご覧ください。

URL　https://shinagawa-ism.com/

問い合わせ先

株式会社キャンパスクリエイト　オープンイノベーション推進部
TEL:042-490-5728

お申し込み時にご提供いただいた個人情報は主催、共催者で適切に管理いたします。